



2024年4月26日

各位

会社名 株式会社北國フィナンシャルホールディングス
代表者名 取締役社長 杖村 修司
(コード番号 7381 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員経営企画部長 寺井 尚孝
(TEL 076-263-1111)

中長期経営戦略のアップデートに関するお知らせ

株式会社北國フィナンシャルホールディングス（代表取締役社長：杖村 修司）では、急速な社会情勢・経営環境の変化を捉え、より柔軟かつスピーディーな戦略実行を行うために、5年、10年先を見据えた中長期の経営戦略を策定し、毎年アップデートしていく方針としております。今般、中長期的に目指す水準および戦略をアップデートし、「中長期経営戦略 2024」として公表しましたのでお知らせします。

記

1. 中長期的に目指す水準

昨年からの主な変更点として、令和6年能登半島地震の影響により、直近2年は昨年計画を下方修正となりました。一方、各事業のブラッシュアップにより、ROE8%以上の達成時期は2029年3月期に前倒しとしております。

	2024/3期 (実績)	2025/3期 (1年後)	2027/3期 (3年後)	2029/3期 (5年後)	2034/3期 (10年後)
経常利益(連結)	145億円	152億円	212億円	313億円	457億円
当期純利益(連結)	91億円	102億円	134億円	207億円	305億円
重点ビジネス事業 収益(連結)	343億円	391億円	423億円	553億円	697億円
ROE(連結)	4.1%	4.5%	5%以上	8%以上	8%以上

※ROEは、国内基準行ベースのバーゼルⅢコア資本に対する親会社株主に帰属する当期純利益額により算出

2. 企業価値向上に向けた戦略

企業価値向上に向けて、株主資本や利益の質を重視したROEの向上、ガバナンス高度化や情報開示等による資本コスト抑制のための各施策実行に取組み、PBR1倍以上の早期達成を目指します。

➤ 株主資本コントロール

- ・ 自己資本比率の目安は連結 9%~10%前後としながら、総還元性向は 50%以上とし自己株式取得を継続

➤ 利益の質の向上

- ・ 重点ビジネス（事業性融資・リース、キャッシュレス、コンサルティング、投資助言、投資ファンド、市場運用）の更なる推進
- ・ 新高度化等会社（検討中）設立による他業種展開・同業種へのシステム販売など新分野の収益力向上
- ・ システム、店舗などの伝統的な銀行業務にかかる物件費削減を加速させながら、新たな成長分野への投資を強化

➤ 資本コストの抑制

- ・ 取締役会議長、指名報酬委員会委員長の交代による執行と監督の分離の実効性向上、適切な後継者選定によるガバナンス高度化
- ・ あらゆるカウンターパーティーとの対話の進化と透明性のある情報開示
- ・ ビジネス領域の拡大を支える「人材ポートフォリオの実現」に向けた人的資本の取組み
- ・ 取引先の対応状況の定性・定量把握、自治体や他金融機関とも連携した地域 GX に向けた気候変動への取組み

なお、「中長期経営戦略 2024」の詳細は、別途 IR 資料にて公表しております。

■ 2024 年 3 月期 「中長期経営戦略のアップデート及び 2024 年 3 月期決算の概要」

https://www.hfhd.co.jp/ir/ir_briefing/material.html

以上